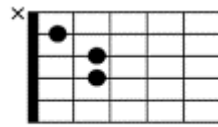


舟唄「八代重紀」

作詞、阿久悠 作曲、浜圭介

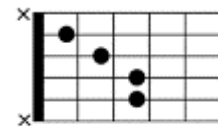
Am G Am
 お酒はぬるめの 爛(かん)がいい
 F Dm E7
 肴(さかな)はあぶった イカでいい
 Am E7
 女は無口な ひとがいい
 Dm E7 Am
 灯(あかり)はぼんやり 灯(とも)りゃいい
 E7 Am
 しみじみ飲めば しみじみと
 Dm E7
 思い出だけが 行き過ぎる
 Am Dm
 涙がポロリと こぼれたら
 E7 Am
 歌い出すのさ 舟唄を
 Am Dm Am
 沖(おき)のかもめに 深酒(ふかざけ)させてヨ
 E7 Am Fmaj7 Dm Am E7
 いとしあの娘(こ)とヨ 朝寝 するダンチョネ
 Am G Am
 店には飾りが ないがいい
 F Dm E7
 窓から港が 見えりゃいい



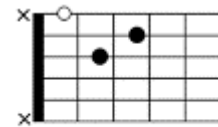
Am



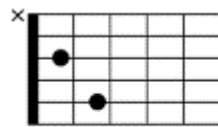
G



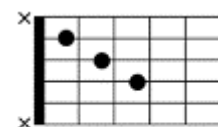
F



Dm



E7



Fmaj7

Am E7
 はやりの歌など なくていい
 Dm E7 Am
 ときどき霧笛(むてき)が 鳴ればいい
 E7 Am
 ほろほろ飲めば ほろほろと
 Dm E7
 心がすすり 泣いている
 Am Dm
 あの頃あの娘を 思ったら
 E7 Am
 歌い出すのさ 舟唄を
 E7 Am
 ぽつぽつ飲めば ぽつぽつと
 Dm E7
 未練(みれん)が胸に 舞い戻る
 Am Dm
 夜ふけてさびしく なったなら
 E7 Am
 歌い出すのさ 舟唄を
 Am Dm Am
 ルルル.....
 E7 Am Fmaj7 Dm Am E7 Am
 ルルル.....